富士市立神戸小学校

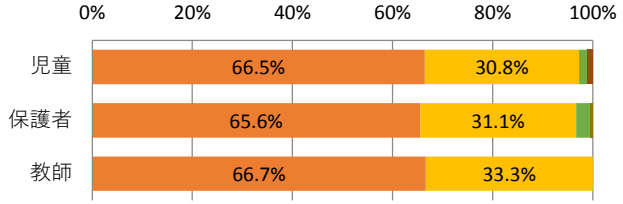
学校便り 神戸っ子

平成29年10月６日

10月号その2 前期学校評価報告

学校教育目標　「つよいきずなで　よさをのばそう」
重点目標　「すすんで　やる子」

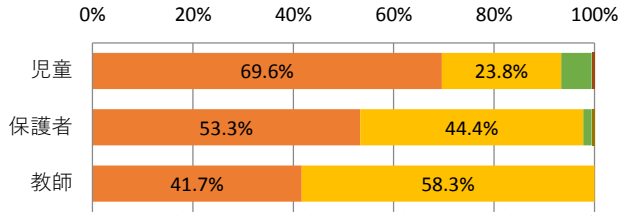
学校生活への満足度（子ども）



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」

安定した学校生活は、安定した家庭生活から来ていることが推察されます。「そう思う」の割合をさらに高めていきたいと思います。

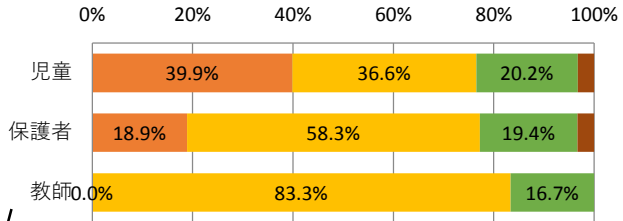
良好な友達関係（子ども）



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」

否定的な回答の割合は、児童が最も多いことに注目し、友達と上手に関われない児童については、良好な友達関係づくりができるように支援していきます。

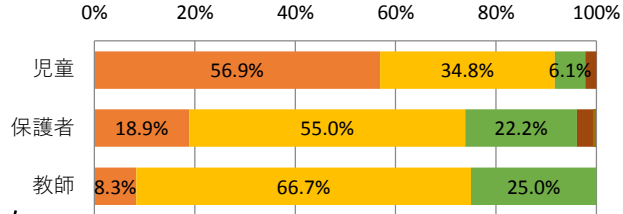
すすんで発言（子ども）



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」

8割近い児童が肯定的な回答をしています。単学級の固定した人間関係の中で、間違いや失敗を温かく受け止め、互いを認め合える学級づくりを目指していきます。

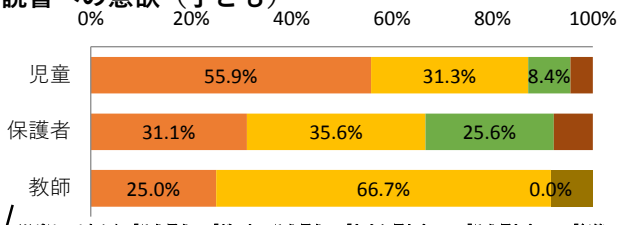
人の意見や考えを聴く姿勢（子ども）



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」

児童の肯定的な回答は90%に達し、「聴く」ことへの意識は感じられます。意識だけでなく実際に「聴く」姿勢が育つようにさらに指導を継続していきたいと思います。

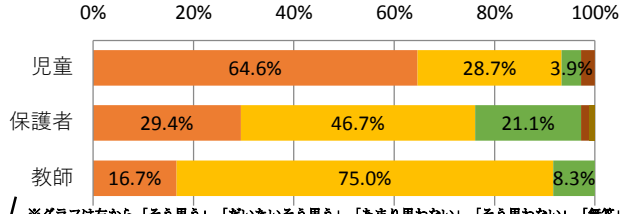
読書への意欲（子ども）



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」

学校での読書への意欲は高いと言えます。秋の夜長、テレビを消してご家庭でも家族一緒に読書をしてみることをお勧めします。

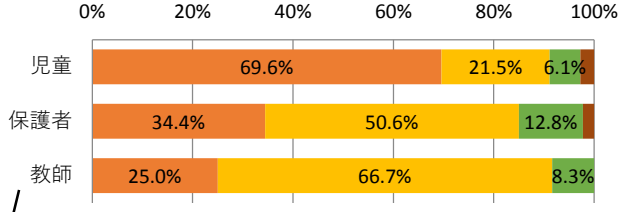
すすんであいさつ（子ども）



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」

あいさつをすることで1日が気持ちよくスタートできます。学校・家庭・地域でもあいさつが広がるよう取り組んでいきたいと思います。

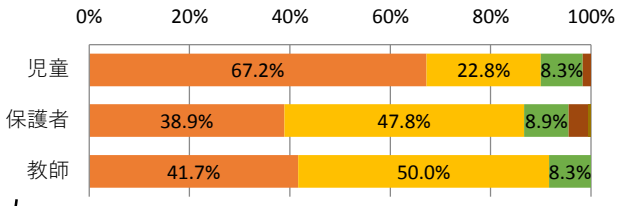
家庭学習への取組み（子ども）



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」

家庭での学習・生活習慣が定着すると、学ぶ力も高まっていきます。年度当初に配布した『家庭学習のしかた』を見直していただきたいと思います。

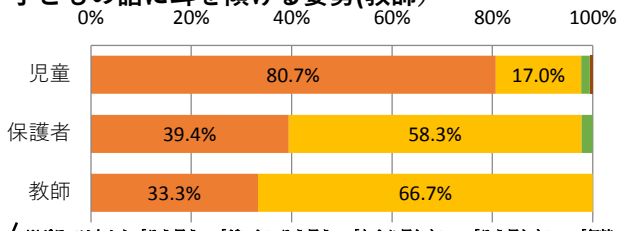
元気よく外遊び・運動（子ども）



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」

子どもたちは朝の運動にすすんで取組み、休み時間にも外でたくさん遊んでいます。自分自身や学校の目標に向けて努力し、達成感がもてるよう支援していきたいと思います。

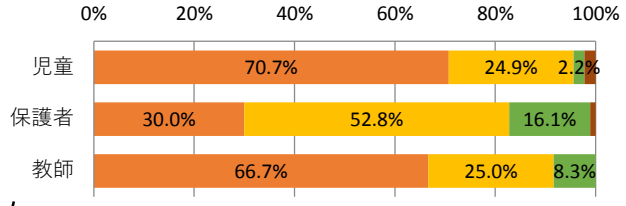
子どもの話に耳を傾ける姿勢(教師)



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」

限られた時間の中で一人ひとりの声に耳を傾け、大切にしてきたことが児童の8割を超える数値につながったと考えます。今後も子どもとしっかり向き合っていきたいと思います。

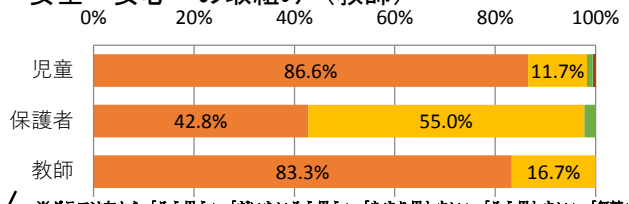
子どものよさを発信する姿勢（教師）



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」

教師はできるだけ子どものよさを認め、伝えようと努力してきましたが、まだ十分伝えきれていない結果が読み取れます。学習カードや連絡帳を有効に活用し、発信していきたいと思います。

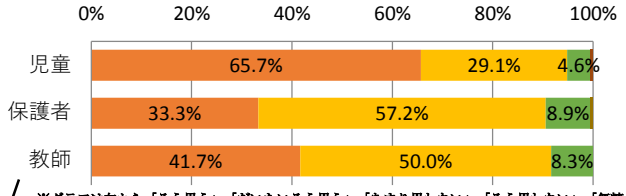
安全・安心への取組み（教師）



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」

なかなか気づかれにくい取組みではありますが、教師の姿勢が、子どもたちには十分伝わっていることが読み取れます。さらに安全・安心な学校づくりをすすめていきたいと思います。

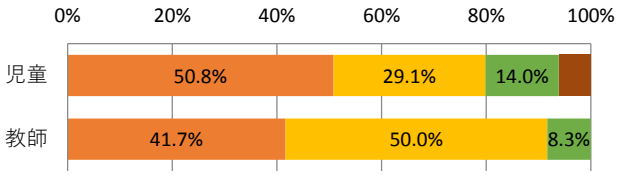
分かりやすく・学力を伸ばす授業（教師）



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」

これまでも授業改善を行ってきましたが、その取り組みは未だ発展途上にあります。あらゆる教育活動の中で最も時間をかけ、最も大事にしなければいけないのが授業であることを再確認し、今後の研修に力を入れていきたいと考えています。

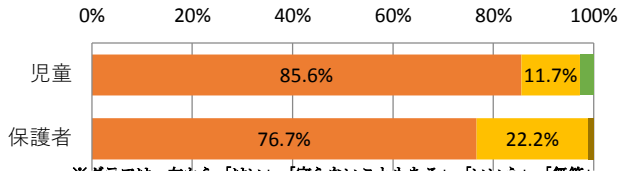
「すすんでやる子」への姿勢（子ども）



※グラフは左から「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「そう思わない」「無答」

児童が自ら考えて「すすんでやる子」に向かって取り組めることが理想ですが、中には教師の働きかけが必要となる子もいます。機会をとらえて適切な声かけをしていきたいと思います。後期は、この項目について保護者の皆様にも回答していただく予定です。

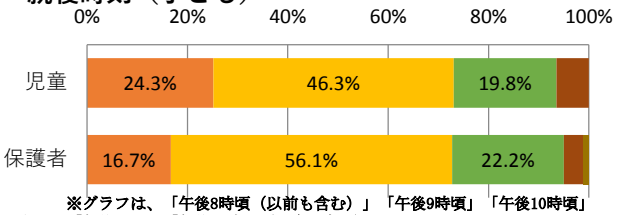
きまりを守る姿勢（子ども）



※グラフは、左から「はい」「守らないこともある」「いいえ」「無答」

児童の規範意識は高いと思います。ほんの一部が「いいえ」と正直に答えているので、もう一度きまりを守ることの大切さを道徳や学級活動等の授業を通して再確認していきたいと思います。

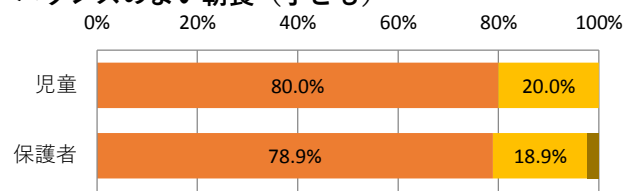
就寝時刻（子ども）



※グラフは、「午後8時頃（以前も含む）」「午後9時頃」「午後10時頃」「午後11頃」「午後12時頃（以降も含む）」

毎年の傾向ですが、学年が上がるにつれて就寝時刻が遅くなるようです。習い事やスポーツ少年団の時間も少なからず影響していると思われますので、就寝時刻が午後10時を過ぎることがないようにご協力をお願いします。

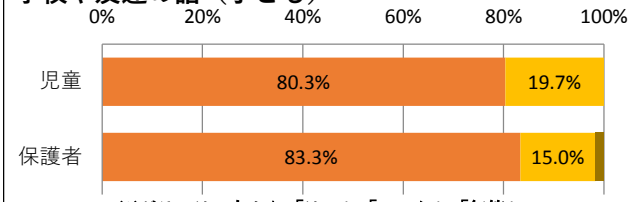
バランスのよい朝食（子ども）



※グラフは、左から「はい」「いいえ」「無答」

朝食は食べてきますが、バランスのよい食事となると、自信をもって「はい」と答えられる児童は80%です。また、保護者もほぼ同じ割合であり、両者の意識が一致しています。「はい」が100%になることを目標にしたいと思います。

学校や友達の話（子ども）



※グラフは、左から「はい」「いいえ」「無答」

80%以上の児童が、家で学校や友達の話をしていますが、中には自分から話をしない子もいるようです。時には言いたくないこともあるかもしれませんが、できるだけ子どもに声をかけ、子どもの思いに共感しながら話を聞くことで、自分からすすんで話せるようになると思います。

➢ 子どもたちがよりよく伸びていくための意見・提案（保護者より）

①学習に関する内容

- ✎ 1学年1クラスしかない（2年生以上）ので、競争心を鍛えてほしい。毎日5分でもよいので小テストでメリハリをつけてほしい。
- ✎ 子どもたちが主体となって発表できる場があるとよい。
- ✎ 内容はどんなことでも、グループ分けしてまとめて発表した様子を家庭でも知りたいので、簡単なプリントにしていただけたら嬉しい。
- ✎ 実際に目、耳、手を使って経験することが大事だと思うので、そういう機会が多くあるとよい。
- ✎ 学区探検の様子を嬉しそうに話してくれた。学区を知ることができるよい機会なので継続を望む。
- ✎ 社会人の話も３～４ヶ月には1度は聞く機会があれば、社会に出ていく力になると思う。職業は何でもよいので。
- ✎ 家庭学習（自主勉強）を子どもだけでバランスよく毎日進めていくのは難しい。何をやればよいか分からない感じ。宿題の量が多ければ、そこまで時間が取れない。宿題の量を調整する必要がある。
- ✎ 親が調べなければできない宿題ではなく、子どもが教科書をさがせばできる宿題にしてほしい。親が手を出さなければできないものは長い休みのときでなければ大変。
- ✎ 子どもがわかりやすいように、宿題と自主勉強をはっきりと区分し、記録カードも内訳として、書取、計算、読書、調べ事、運動、その他などの項目を作っておけば子どもだけでもやりやすい気がする。また、区分することで学校側も宿題と自主勉強に要した時間をそれぞれ把握できると思う。

- ✎ **2年生以上は、1学年1クラスであるため、競争による序列化が互いの人間関係を悪化させてしまうことも考えられます。他人との競争というより、自分との競争という意識でさまざまな学習に臨ませたいと思います。**
- ✎ **体験的な学習の重要性については、十分承知しております。全ての教科で行うには時間的に難しいため、児童の興味関心を十分把握して上で、授業の中に取り入れられるように計画していきたいと考えます。また、それに伴う発表等の表現活動においては、レジュメ等の作成・配布により、分かりやすい発表につなげたいと思います。**
- ✎ **自主勉強については、量より質を求めているため、継続していく中で個人の追究が深まることを願っています。何をやったらよいか分からない児童については、担任が適切に助言をしていきたいと思います。記録カードについては、ご意見を参考によりよいものとなるよう検討し、工夫したいと思います。**

②生活指導に関する内容

- ✎ 先生が子ども一人ひとりを細かく把握してくれていることが分かり、安心してお任せできる。
- ✎ 先生が相談事をきちんと聞いてくれるので、少しのことでも話しやすい環境にある。
- ✎ いつも温かく見守ってくださり、本当にありがたい。他の学校に比べて、神戸小では先生の目が行き届いていると思う。
- ✎ 子どもたちの悪いところを指摘するばかりではなく、よいところを誉めたり評価したり、自信につなげてほしい。
- ✎ 学校のきまり（自転車の乗り方、友達の家での過ごし方）の説明を受けたことがないので、きまりがあるなら教えてほしい。
- ✎ 1か月に１回持ち帰る上履き、1週間分まとめて持ち帰る箸セットなども気になるので、清潔に生活させてほしい先生が手洗いを呼び掛けるのを聞いたことがないと言っている。子どもの耳に届くような声かけがほしい。
- ✎ 学習カードに学校での様子を書いてもらいたい。
- ✎ 筆箱の中や持ち物などが適切であるか、時折確認し、悪くなりすぎる前に抑制できるような指導をしてほしい。
- ✎ 子ども同士のけんかやトラブルは、大人になったときのために今のうちは必要なことだと思う。一人ひとりの個性がこれからもキラキラ輝いていけるよう、温かく見守っていきたいと思う。
- ✎ 最上級生としての自覚が強くなった。自分の役割に責任をもち最後の小学校生活を楽しく送ってほしい。

- ✎ **子どもの思いに寄り添い、よさを伸ばしていきたいという思いは学校も同じです。発達段階や状況によっては、厳しい指導を行う場合もありますが、子どもが納得しさらによりよく伸びていけるような支援・指導に心掛けていきたいと思います。また、保護者への連絡・説明も丁寧に行っていけるよう努力いたします。**
- ✎ **学校のきまりについては、4月に配布した「神戸っ子の生活」を参照していただき、ご家庭での働き掛けをお願いします。学校でも再度、子どもたちに確認し、きまりを守って生活することの大切さについて指導を継続していきたいと思います。**

③学校行事・特別活動に関する内容

- ✎ 運動会やその練習で、子どもの急な日焼けや体調不良が気になる。当日は、大人でさえテントにいるのだから、来年は子どももパラソル付きパイプいすを使用したいくらい。
- ✎ 組体操は、１つ１つの技や旗がそろい大技とは違った感動があった。先生方の安全への配慮を感じた。百足競争は、紐に余裕を持たせたのはよかったが、後方の子が両足をひっぱられて転んでしまうことがありヒヤっとした。長くつながらなくても３～４人のグループでもよいと思った。また、５，６年一緒の色別対抗でもおもしろいのではないかと思った。
- ✎ 運動会の組体操で、昔みたいにとは言わないけど、サボテンとか２，３人でやる技を見たい。
- ✎ 地域との交流を深めるために、運動会と区民体育祭を一緒にやったらどうか。
- ✎ 吉永第二小との交流会を全学年でやってほしい。リレー会、ドッジボールなど、二校で競わせ団結力を学んでもらいたい。
- ✎ 旗振りのとき、あいさつをしてくれる子がほとんどいなかった。子どもに聞くと「集団登校のとき、しゃべってはいけないから。」と言われたが、あいさつぐらいはした方がよい。
- ✎ 登校時に、先頭を歩くリーダーが歩くのが速く、1年生がついていけなくても気にすることなく歩いていってしまい間が空いてしまうことが多く困っている。
- ✎ 転入生や新1年生は慣れるまで時間がかかると思うが、上級生や友達も声をかけてくれるようなので安心している。学年に関係なくもっと遊べたらよいと思う。

- ✍ **運動会の児童用パラソル付きパイプいすについては、一人ひとりが座るスペースの問題や全員が用意できるものではないという理由から実現は難しいと考えます。地域の理解と協力があれば、児童用応援席もテントを設置できそうですが、準備や片付けにも夏祭りや地区体育祭並みの人員と時間が必要となるため、実現は難しいと考えます。**
- ✍ **運動会の組体操については、静岡県や富士市の安全指導指針に沿って実施するため、二人組のサボテンであったとしても、安全性を考慮し慎重に選択している状況です。また、本校は4年生から組体操に加わるため、子どもたちの体力的な面を考慮し、今後も「全員がそろう」ことを目的とした組体操を追究していきたいと考えます。百足競走についても安全指針に沿って実施していますが、予期せぬ危険もあるため、内容をもう一度検討していきたいと思います。**
- ✍ **地域との交流、吉永二小との交流は、少しずつ進められています。お互いの計画もあるため、いつでもすぐにというわけにはいきませんので、今後も計画的に進めていきたいと思います。また、後期も縦割り活動を通して、異学年同士の「きずな」を深めていきたいと考えます。**
- ✍ **集団登校のときに「声を発してはいけない」というきまりはないので、「すすんで」あいさつができるように働きかけていきます。また、歩くスピードについても様子を見ながら声を掛けていきたいと思います。**

④その他の内容

- ✎ 外遊びをしたくても公園が少なく、遊びも制限される。休みの日でも校庭で遊べるように、校庭の利用予定が空いている日などの情報が分かるようにできないか。平日の下校後なども利用できれば、子どもたちも楽しめるのではないか。
- ✎ 早寝、早起き、朝ごはんのために、帰宅したらすぐに宿題や家庭学習をすべきだと思う。
- ✎ 6月21日の大雨洪水警報時の対応ありがたかった。
- ✎ 他県でやっている結果の出る教育法を行ってほしい。（足腰をきたえるための雑巾がけ、ほめまくる教育、100マス計算、ディベートなど）

- ✍ **運動場・体育館の施設利用状況については、夏休みから神戸小学校ホームページで確認できるようにしました。ただし、休日の日中に運動場が使える日はほとんどないため、十分に遊べる状況ではないことをご理解いただきたいと思います。**
- ✍ **百マス計算については、2，3年生で継続して実施しています。また、神戸小学校のホームページからも計算プリント（Excelファイル）がダウンロードできますので、ご家庭でも取り組んでいただきたいと思います。**

前期学校アンケートへのご協力ありがとうございました。保護者の皆様からたくさんの建設的なご意見をいただき、大変参考になりました。その全てにお答えすることができないのが大変心苦しいわけですが、皆様の思いをしっかり心に刻み、後期の教育活動をさらに充実させていきたいと思います。

なお、12月にも同様のアンケート調査を行いますが、1つだけお願いがあります。

今回アンケートのマークシート部分の回答（色塗り）が不鮮明であったため、機械が「無回答」として読み取ったものもありました。次回は、解答は「黒」で「はっきり」塗っていただけたら幸いです。よろしくお願いします。